

現場からの声 なかがはらがわ【中ヶ原川：安浦町下垣内】 災害関連緊急砂防事業

現場の特徴・問題点など



現場での打合せ

当現場は、甚大な災害が発生した安浦町において3溪流の合流点にあたり、広範囲からの流出量を捕捉する役割を担っていることから、1日も早い本堤完成が望まれた。しかし、現道から現場までのアクセス道はなく、工事用道路設置からのスタートであったが、出水期前までに完成させるため、スピード感を持った施工が必要であった。

工夫など

設計データの3次元化



ICT建機内部



混合槽の設置

仮設備の充実

- 起工測量にUAV(ドローン)による3次元測量を採用し、効率的かつ安全な計測を実現。
- 3次元設計データを作成し、ICT建機（情報化施工機械）を活用することで、施工効率を向上。また、人力の測量作業も大幅に削減され、省労力化並びに安全性を向上。
- えん堤材料となる砂防ソイルセメントの混合槽を2セット設置することで、施工効率を向上。

今後の抱負

掲示板に工事だよりを貼り出すなど、地域とのコミュニケーションを取りながら、今後予定されている工事も含め、地域全体として1日も早く安全な暮らしが取り戻せるよう、工事の早期完成を目指してまいります。

【現場からの声】株式会社増岡組 東さん(監理技術者)